



スルガダルク 代表 五十畠 修



新春の候、コロナ風邪の新種などが広まり不安な日も続きます。1日も早く終息してみなさまと直接お会いして分かち合えるのを心から願うばかりです。教会等をお借りしているNAグループのミーティングも少しずつ戻って来ましたが、人数の制限などを考えたり時間を変更したり、未だ苦しんでいる仲間に助けが必要な時にドアが開いているようにみんなで工夫しています。インターネットを通してのミーティングも増えました。凄く便利で良い部分も沢山ありますが、自分的にはミーティングルームの甘いコーヒーのフレイバー、壁の質感、温度、仲間達のうなずき、共感の笑い声、なによりもほっとした感じ…が大好きです。

欲言えど、何千もの仲間達の回復のウエーブ！やる気の渦、早くそんな日が来る事を祈っています。

みなさまには健やかにお過ごしなれますようお祈り致します。

Isamu

『 山あり、タニあり 』

タニ



『覚せい剤、やめますか？それとも人間やめますか？』

このフレーズは私が薬を始めた頃の35年前、深夜のTVのCMでよく流れていました。

その頃の私はこの言葉を聞き、“薬如きで人生やめるなんて、オーバーだなあ”とおもっていたのを今でも思い出します。ですがこの言葉が、オーバーどころではなく、現実になろうとは…。

今までの私の人生を振り返ると、毎日毎日本當にいろんな事がありました。その中の1番の出来事はやはり私が薬を使い始めたことです。私が好奇心とその場の勢いで始めた薬のせいで私や私の家族の人生は大きく悪い方向へと変わってしまいました。悪い方向へ進む私に家族、友人知人はその都度、愛のある言葉を掛けてくれたり、救いの手を差し出してくれたのですが、私はその手を払いのけてしまっていました。そうなると、私の周りには当然私と同類の人達ばかり。

その後、私は薬で何度も逮捕され、何度も刑務所に行く事になります。その度に“あの時、違う行動を取っていれば…”と、心の底から思っていましたし、今でもそう思っています。そうは言っても反省するのは逮捕されてからの数ヶ月で、実際は出所後、直ぐに薬を注射し捕まるまで使い続ける。そんな私を自分自身で“この先も薬は止まらず一生、塀の中と社会との行ったり来たり…”と諦めていました。



結局は薬をやめたいと思っていても薬をやめるために一步踏み出せなかったし、踏み出したくなかった。それは何故か？と言うと、シンプルに覚せい剤という薬が大好きだったからです。なので、もしかしたら薬をやめたくなかったのかも知れません。が、しかし、その大好きな薬は違法なので持っているだけで、再び刑務所に逆戻りになってしまいます。それに、このままだと、薬に翻弄されたまま、後悔だけの人生で終わってしまう。大好きな薬をやっているのでそういう人生も良いかも知れませんが、私は刑務所にはもう行きたくないし、残された家族も、もう苦しめたくない。そういった諸々の事情!?理由!?から、私は薬を止め続ける為に、新たな一步を踏み出すことにしました。その踏み出した先が、現在の浜松ダルクです。

と言ってもここまで辿り着くのには随分とまわり道をしたのでかなりの時間が掛かりました。正直無駄な時間も多かったのですがまわり道をしたお陰で普通では見られない景色を見ることができました。

今後、薬はやらないと思いますが、この先のことは正直全然わかりません。でもやれるところまで、やってみようと思っています。この先も毎日いろんな事があると思うし、何度も失敗するとも思います。でも薬を使っていたいなければ、少しはマシな毎日になるだろうし、刑務所にいるより 100 億万倍マシです。なので薬を使わない毎日に感謝して、昨日より今日、今日より明日が悪い日にならない様、今日一日をシラフで楽しく過ごしていきたいです。

最後に一言。此の度はこの様な機会を作って頂き心より感謝して居ります。改めて今までのことを振り返ることが出来ました。逮捕されてから 6 年 6 月。出所してから 10 ヶ月。社会にいれば毎日薬を使っていた、薬大好き人間だった私が、6 年 6 月も薬を使っています。ですが、アディクトの私にとって塀の外に居る自由は当たり前ではないし、大切な物は失った時に失った物の大きさに気づく。その大切な事を改めて気付かせて頂きました。



DARC PHOTO LETTER



浜松 秋の収穫祭



『回復にむかって！』

ヘイジ

僕は、6年前にシンナーと覚せい剤の後遺症で妄想及び幻覚があると医者に診断され、スルガダルクにやってきました。

初めは妄想がひどく、仲間と話をすることも出来ませんでした。

ダルクに来て半年ぐらいが過ぎた頃、やっと仲間と話をすることが出来るようになりました。その後、浜松のダルクでプログラムをするようになりました。昼食を作ったり、畠仕事をしたり、もちろん、ミーティングも毎日まじめに取り組みました。

仲間とミーティングを続けているうちに、3年くらいたった頃、就労プログラムとして、B型作業所の岡崎のラウレアベーカリーというパン屋で、働くことになりました。

パンの生地を作ったり、パンの中に包む、具を作ったり、カレーパンなどの具をパンに包む作業を手伝わせてもらいました。ミーティングをしながら、仕事に行き、1年間、働かせてもらいました。パン屋で仕事をしている時も、少し妄想が出ることもあったのですが、まじめに頑張りました。お店の人達は、ミーティングでも何度かあった仲間たちだったので、気兼ねなく、みんなに馴染めました。

仕事をしながら、ミーティングを続けていく内に、5年位たった頃、ダルクのスタッフを手伝わせてくれるという話をしてくれたので、スルガダルクに来て、手伝わせてもらうことにしました。パン屋に行っている時は、自分にこういうチャンスが来るとは思ってもいなかったので、とても嬉しかったです。

スルガダルクに戻ってきて、8ヶ月ほど経ちました。浜松ダルクにいた時も、スルガダルクに戻ってきても、欲求はなく、無事、スタッフ研修として手伝わせてもらっています。なんとか、仲間たちと新しい年も迎えられそうで、『今日一日』ずつ、努力して頑張っています。今までしてきた、薬物の生き方は手放して、違う新しい生き方を目指して頑張っています。スタッフの仲間が丁寧に色々なことを教えてくれて、応援してくれるので助かります。人と話すことも出来ないくらい、ひどい状態だったけれど、ここまで回復でき、スタッフ研修にまでなれたので、このままクリーンで、二度と薬はやらない！と思っています。ありがとうございました。





DARC 活動報告 2021 年



9月

- ・DARC 意見交換会 ZOOM
- ・横浜刑務所 特別改善指導
- ・横須賀刑務所 特別改善指導 3回
- ・中原自治会ボランティア ゴミ当番
- ・静岡刑務所 特別改善指導 2回
- ・DARC35周年記念フォーラム参加
- ・静岡教会 お墓そうじ
- ・静岡県精神保健センター
リカバリーミーティング 2回
- ・静岡保護観察所 ステップアッププログラム



DARC35周年記念フォーラム参加

10月

- ・静岡刑務所 特別改善指導 3回
- ・中原自治会ボランティア ゴミ当番 2回
- ・静岡県精神保健センター
リカバリーミーティング 参加 2回
- ・横須賀刑務所 特別改善指導 5回
- ・横浜刑務所 特別改善指導 4回
- ・静岡教会 お墓そうじ
- ・静岡保護観察所 ステップアッププログラム
- ・ヨガ療法プログラム
- ・静岡県立袋井高校 薬学講座 講演
- ・常葉橘中学校 薬学講座 講演



11月

- ・静岡県立湖南高校 薬学講座 講演
- ・横浜刑務所 特別改善指導 4回
- ・静岡教会ボランティア お墓そうじ
- ・ヨガ療法プログラム
- ・早稲田大学院 アンケート インタビュー 参加
- ・中原自治会ボランティア 参加
- ・静岡刑務所 特別改善指導 4回
- ・静岡県精神保健センター
リカバリーミーティング 参加
- ・静岡保護観察所 ステップアッププログラム
- ・静岡保護観察所 家族向けプログラム 参加
- ・静岡更生保護女性会 講演
- ・JCCA 役員会
- ・



12月

- ・中原自治会ボランティア ゴミ当番
- ・静岡教会ボランティア お墓そうじ
- ・横浜刑務所 特別改善指導 2回
- ・横須賀刑務所 特別改善指導 2回
- ・静岡保護観察所 ステップアッププログラム
- ・島田樟誠高等学校 薬学講座 講演
- ・ヨガ療法プログラム
- ・ダルク年越しワークショップ



☆編集後記：毎年恒例の年越しワークショップも無事終わり、みんなで餅つきや書き初めなど満喫しました。仲間の大切さ、クリーンの良さが身にしました。今年は寅年、壬寅（みずのえ とら）ともいうそうです。成長や始まりの意味もあるそうで、今年は何事にもトラわれず、新しい生き方と成長にトライ！出来るような一年になるよう、また、長らく続くコロナ禍の生活が終わり、仲間や皆様と笑顔で気兼ねなく会えるような良い一年になりますように。（アンディ）





三岳山 登山プログラム



景色最高 おにぎりタイム！



浜松 三岳山 山頂にて 2021



しゃぶしゃぶ 食べよう会



2021~2022 年越しフェロー 浜松





カリタス☆クリスマス 分かち合い 感謝です！



本牧☆AJITO クリスマス会☆

年末大掃除



みんなで餅つき

いい年になりますように



お墓どうじ

